

宿検索の条件重要度判定 ガイドライン

1 プロジェクト名

宿検索の条件重要度判定

2 作業概要

ユーザの要望表現中の条件キーワード（以下、「span」）の重要度を判定します

3 作業の目的と考え方

宿検索チャットシステムにおいて、ユーザのすべての要望を満たすホテル候補が0件になった時、優先的にどの要望を外すかを判断したい

- 優先的に外す条件の事例：
1. ユーザーの持りが弱い条件：
例「できれば〇〇」
 2. ユーザーが明確的に要望として表現していない：
例「値が大きくいいですね」（感想を述べている）
 3. 不確定な条件：
例「うんから人にならと思います」
など

4 判定基準

ざっくりいうと、基準①では、要望の強さをspan属性について判定します。基準②では、抜き出されたspan（要望自体の重要度）について判定します。

- 【基本ルール】
- 発語に含まれる各spanを基準①で評価する。
 - 基準①がneutralの場合は基準②でも評価する。

【特例ケース】

- ※1 基準②による（①と逆方向の）影響を強く感じる場合には①がneutral以外でも基準②の評価を行う（レアケース）
- ※2 指示表現を含む要望発語の場合、spanが別の発語から抜き出されている場合がある。この場合も、基準①の評価は当該発語（spanを抜き出した発語ではない）を読んで行うこと（全体の5%くらい該当データあり）
- ※3 複数のキーワードの組み合わせで要望になる場合はspanに対してsub_spanも存在する。sub_spanとspanの組み合わせで評価すること。
- ※4 直接的な宿の要望（立地、料金、設備など）ではなく、旅の目的などを伝えている（主にspan_flagが「旅行シーン」のspan）場合は、宿の要望というより旅の目的の重要度を評価することになります

ケース	基準事項	判定基準	例	特記事項
基準事項① (基本)	spanの重要度（条件の強さ）を文の表現及びコンテキスト（直近Agentの発語）のみから、主観に基づいて三段階で判定する	文の表現及びコンテキスト（直近Agentの発語）のみを考慮した評価指標：ユーザーの持り具合をはかる（要望内容/カテゴリと無関係：すなわちspanの部分を無視しても、前後の文から判断できる）	〇〇は嫌れません」 strong →強い持りを感じるので重要度高い 「〇〇でお願いします」 neutral →弱々しいのはこのケース 「さらに〇〇があると完璧」 weak →追加の条件なので重要度低い	1. 質問形式は基本weakと分類してください 例「 駅直結 のホテルはありますか？」 2. 感想は基本weakと分類してください。ただし予約意図を読み取れるようなものはstrong≒neutralにすることもあります 例 A「こちらはいかがですか？」 U「二件目は軽メニュー一皿まで子供も喜びそうです」 →weak 例 A「こちらはいかがですか？」 U「特等旅館、よさそうですね。」 →neutral（予約意図が読み取れる） 例 A「こちらはいかがですか？」 U「特等旅館、ここにしようかと思ひます」 →strong（予約意図が強い）
基準事項② (基本)	spanの重要度（条件の強さ）も、要望の内容とカテゴリのみから、主観に基づいて三段階で判定する ※基準①がneutralの場合のみ基準②へ進む	要望の内容とカテゴリのみから判断する評価指標：要望の性質などによって客観的に外せるか、外せないかを判断（文脈を考慮しない：以前の対話で取得した要望や、以降の対話で変更した要望などを一考考慮しない） ※要望のカテゴリを人手判定した結果はspan_flag列に記載されています ★ポイント：自分が宿検索エージェントとして、ユーザーの希望にあった宿が見つからなかったときに、どの条件を抑えて外して再検索するか？ 例） 「4/6 12名 有名 旅館」→日程と人数は変えずに「有名」→「旅館」の順に条件を外す→日程や人数は、ユーザーの予定に変更が生じてユーザーからの重要度順がない限りは、変わらない基本条件なのでstrong。有名はweak、旅館はneutral→weak。	span_text:「1人は2歳」 strong →子供の年齢は変更することがありえない要望 span_text:「出張利用」 strong →「出張」という旅の目的は変更することがありえない要望 span_text:「旅館」 neutral →宿のタイプは変更することがありえないとはいえない要望 span_text:「（チェックイン日）16～18くらい」 weak →明確に定まっている条件は原則weakとする	1. 時間、金額、場所など明確定まっていな要望は基本weakと分類してください（赤字に着目） 例「 3万円 くらい」 「 お風呂 あたり」 「 京都駅・大久保駅 間」 → 二条件付き 2. 複数排他的条件（片方のみ満たす）や、条件付き要望は基本weakと分類してください 例「 8人 か 4人 」 「 朝飯 」もしくは 夜飯 がある」 「 水泳 がなければ 旅館 で」

【特例ケース詳細】

- ※1 基準②による（①と逆方向の）影響を強く感じる場合には①がneutral以外でも基準②の評価を行ってください（レアケース）

基準①がweakで基準②がstrongのようなケース。おそらくあるとしても、下記例のように不自然な要望になる？

例）
「できれば大人2名で」 基準①weak 基準②strong

- ※2 指示表現を含む要望発語の場合、spanが別の発語から抜き出されている場合がある。この場合も、基準①の評価は当該発語を読んで行うこと（全体の5%くらい該当データあり）

指示表現が含まれる要望発語は、指示対象を別の発語から抜き出していることがあり得ます。その場合は、「（spanが発語外の場合）抽出先の発語内容」列に、spanを抜き出してきた発語内容が表示されていますが、基準①の評価はあくまでも当該発語について行ってください。基準②の評価は、抜き出されたspanについて行ってください。

例）
エージェント：ホテルAはいかがですか。
ユーザー：そこに決めました。 → span「ホテルA」 基準①strong（「決めました」という強い要望表現があるため）

- ※3 複数のキーワードの組み合わせで要望になる場合はspanに対してsub_span（主に要望の補足情報）も存在する。sub_spanとspanの組み合わせで評価すること。

例）
ユーザー：USJに行くことになっているのでアクセスのいいホテルを探したい → span「アクセスのいい」 sub_span「USJ」（「USJへのアクセスがいい宿」という要望として判定してください）

- ※4 直接的な宿の要望（立地、料金、設備など）ではなく、旅の目的などを伝えている（主にspan_flagが「旅行シーン」のspan）場合は、宿の要望というより旅の目的の重要度を評価することになります

基準①では、旅の目的の重要度を文の表現及びコンテキストから評価してください。

基準②では、内容とカテゴリから重要度を評価してください。

例題（基準①で着目すべき表現は赤字）	判定対象span	negation	spanの重要度判定（基準①）	spanの重要度判定（基準②）	判定のポイント
家族旅行なので落ち着いた宿希望です	家族旅行		neutral	strong	家族旅行という目的は変わりようがない要望であるため
旅館活動での宿泊ですができれば観光もしよう	観光		weak	不要	

- ※5 予約意図を読み取れる場合は重要度を上げてください。（予約意図の薄い感想との混同に注意）

感想（予約意図は明確ではない）は基本weakと分類
A「こちらはいかがですか？」
U「2件目は、これだけ軽メニュー一皿まで子供も喜びそうです」
感想の部分：軽メニュー一皿、子供も喜ぶ ==> weak
感想の対象：大阪コロナホテル（2件目） ==> weak

「予約意図」を表す発言は基本neutral/strong
例 U「特等旅館、よさそうですね。」 ==> neutral（予約意図を感じ取れた場合）
例 U「では2件目にさせて頂きます！」 ==> strong（予約確定しているため）

5 作業例

例題（基準①で着目すべき表現は赤字）	判定対象span	negation	spanの重要度判定（基準①）	spanの重要度判定（基準②）	判定のポイント
1 「大人2名、駅近のホテル希望です」	大人2名		neutral	strong	人数は変わりようがない条件なのでstrong
2 「大人2名、駅近のホテル希望です」	駅近		neutral	neutral	
3 「温泉は嫌れません」	温泉		strong	不要	
4 「温泉付きでお願いします」	温泉		neutral	neutral	
5 「さらに温泉があると完璧」	温泉		weak	不要	
6 「必ず京都駅～大久保駅 間でお願ひします」	京都駅～大久保駅 間		strong	strong	不要
7 「京都駅～大久保駅 間でお願ひします」	京都駅～大久保駅 間		neutral	weak	時間、金額、場所など明確に定まっていな要望は基本weakと分類
8 しします」	京都駅～大久保駅 間		weak	不要	
9 と願ひします」	駅近		strong	strong	不要
10 「駅近もしくは遠郊があるところ」	駅近		neutral	weak	
11 ところ」	遠郊		weak	不要	複数排他的条件（片方のみ満たす）や、条件付き要望は基本weakと分類
12 と願ひします」	遠郊		strong	strong	不要
13 「駅近もしくは遠郊があるところ」	遠郊		neutral	weak	複数排他的条件（片方のみ満たす）や、条件付き 要望は基本weakと分類
14 とところ」	遠郊		weak	不要	
15 人」	ホテル AAA		weak	neutral	
16 人」	ホテル AAA		weak	neutral	
17 「旅館以外じゃないとだめ」	旅館	1	strong	不要	否定条件の場合も考え方は同じです。その否定要望の強さを表す表現に着目して基準①を判断してください。
18 「旅館じゃないほうがいいです」	旅館	1	neutral	neutral	
19 「旅館じゃなくてもいいです」	旅館	1	weak	不要	
20 「旅館以外でお願いします」	旅館	1	strong	不要	文脈はneutralにしろな「～でお願いします」ですが、「以外」という語句に、ユーザーの強いこだわり（強い否定の意思）を感じるならstrongが望ましいです
21 大阪は治安の悪い地区があると聞くので、・・・	治安の悪い地区	1	weak	不要	このように、一見ただの事実を述べている（暗に要望を伝えている）発語も要望発語に含まれます。この文の場合、暗に「治安の悪い地区を避けたい」と要望している発語として扱ってください
22 U.S.J.に行くので大阪駅周辺で探しています	U.S.J		neutral	strong	「XXJに行く」には特に強い要望のニュアンスがないので基準1weak≒neutral、ここでの「USJ」は旅の目的であり、旅の目的は変わりようがないので基準2はstrong
23 U.S.J.近くの宿を探しています	U.S.J		neutral	neutral	22と異なり、宿の立地に関する要望。基準2はneutral～strong（「近く」というのが曖昧さをもっているためneutralが妥当）
24 宿泊日2／4～2／9まで	2／4～2／9まで		neutral	strong	同じ「～」を使った表現でも、「5000円～6000円」とは異なり、明確に定まった要望（この6日間に宿泊する）なので、strongになる